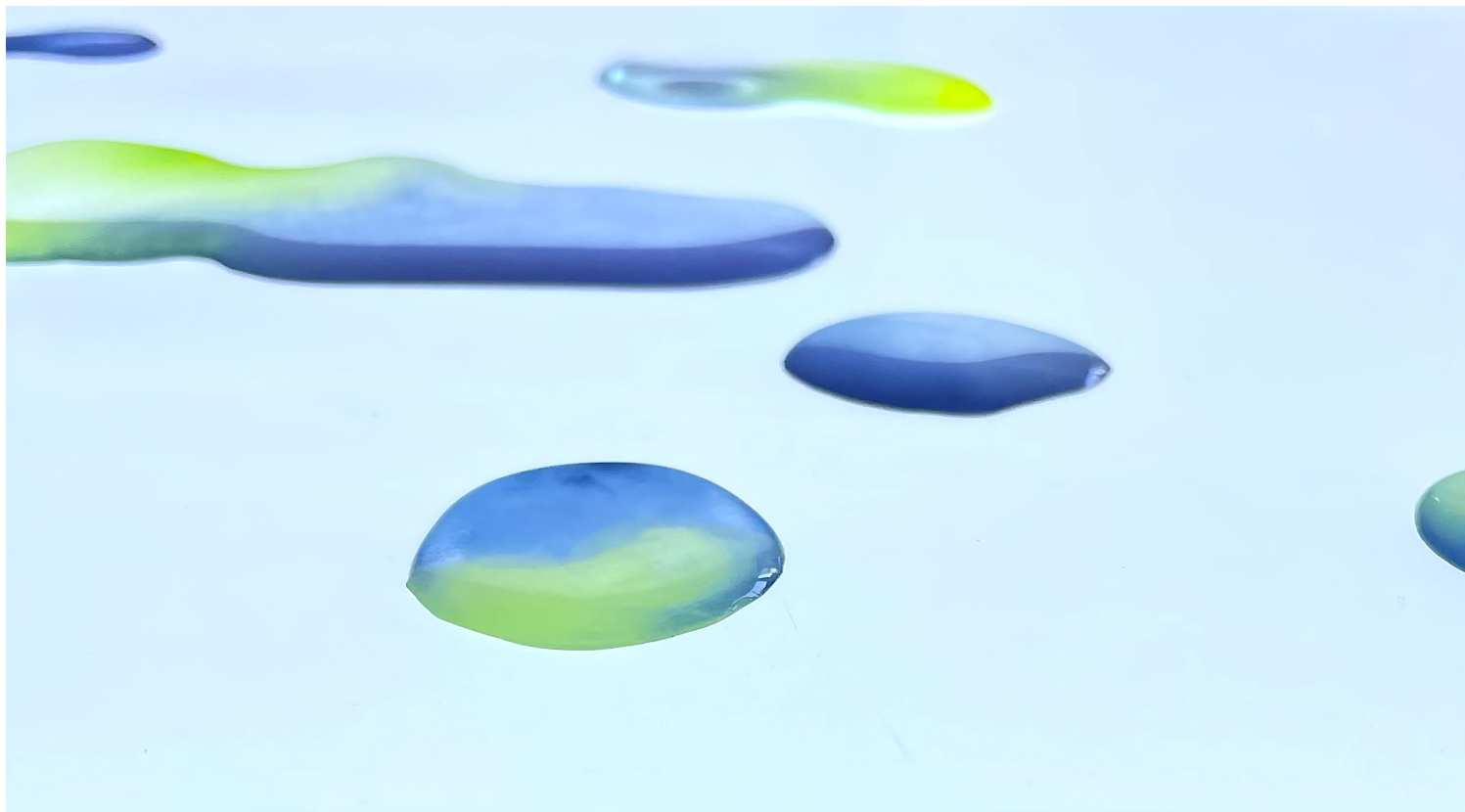


河原院



contemporary music series Gardens: vol 3

kawara-no-in

〈曲目〉

「歌枕 7: 鹽竈」 / utamakura 7: Shiogama

ゼミソン・ダリル / Daryl Jamieson

〈出演〉

浅井信好 / Asai Nobuyoshi 振付・ダンス

竹本聖子 / Takemoto Seiko チェロ

〈日時〉

第1回 2022年12月17日(土)19時開演(開場30分前)

第2回 2022年12月18日(日)17時開演(開場30分前)

〈会場〉 桜台 pool (東京都練馬区桜台 1-7-7 地下2階)

〈入場料〉 一般 3700円 (お土産付き、全席自由)

〈チケット〉 Peatix (<https://gardens3.peatix.com>) にて販売中

*

◇本公演前に下記の要領で公開リハーサルを行います

〈日程〉 2022年12月11日(日)16時開演(開場30分前、入場無料)

〈会場〉 九州大学芸術工学部多次元ホール(福岡市南区塩原 4-9-1)

【公演概要】

●工房・寂が2018年から取り組んでいる、現代音楽の新シリーズ「庭」。庭は安らぎを得るために・植物と触れあうために・思索のよすがとして、様々なスタイルで作られてきました。すぐれた庭がアーティストの創作意欲を掻き立てることもしばしば。本シリーズも古今に知られる庭を舞台に、また庭をメディウムにして企画されたものです。最終回の第3回公演は「河原院」と題し、ゼミソン・ダリルの新作「歌枕 7: 鹽竈 (しおがま)」をお聞きいただけます。

●河原院は9世紀の平安京にあった伝説的な庭園です。この豪華な庭園は平安時代を代表する貴族だった源融の指示のもと、塩釜湾(松島に隣接する景勝地)の奇景を模して造られました。しかし、河原院は源融の死後急速に荒廃したために、何世紀にもわたって「幽霊が出る」と噂されていました。

●時代は下って15世紀。世阿弥は能「融」を書き、河原院を数百年ぶりに「復興」させました。本曲は数ある世阿弥の作品中でも最も文学的な香り高い作品の一つとされています。

●この演奏会では作曲家・演出家のゼミソン・ダリルと、振付・ダンサーの浅井信好がこの「融」を多感的に再構成し、ダンス、チェロ独奏、京都・塩釜におけるフィールド・レコーディングと映像による作品「歌枕 7: 鹽竈」を世界初演します。歌枕シリーズの掉尾を飾る、全7パートからなる作品である「鹽竈」は、音楽、フィールド・レコーディング、香り、映像、そして動きを通して自然の詩学と関わってきた、足掛け5年にわたる歌枕シリーズの集大成といえます(演奏時間約90分)。

●シリーズ第1回公演「二つの庭」で取り上げたケージの「龍安寺」とゼミソンの「歌枕 3: 西芳寺」、昭和を代表する知識人・林達夫の著作に靈感を得て企画された第2回公演「シェイクスピア・ガーデン」における藤枝守「植物文様」シリーズ、ゼミソンの「歌枕 4: セント・ダンストン・イン・ジ・イースト」に続くシリーズ「庭」最終回、お聴き逃しのありませんようお願いいたします。

Atelier Jaku's third and final concert in the 'Gardens' series centres around Kawara-no-in, the site of a semi-legendary pleasure garden in 9th-century Kyoto. This lavish garden was built under the direction of the high-ranking aristocrat Minamoto no Tōru in order to mimic the famous views of Shiogama Bay (a town in Miyagi prefecture contiguous with Matsushima, which is considered to be one of contemporary Japan's three most beautiful locations). After Tōru's death the garden fell into disrepair, and for centuries its ruin was said to be haunted. In the early 15th century, Zeami wrote a nō play called *Tōru*, rehabilitating the reputation of Kawara-no-in as a site of beauty and enchantment, and unleashing one of his most densely literary plays.

This concert will see the world premiere of composer and director Daryl Jamieson and choreographer and dancer Nobuyoshi Asai's multi-sensory reimagining of Zeami's *Tōru*, a concert-length (90 min) work for dancer, solo cello and featuring field recordings and video from Kyoto and Shiogama entitled *utamakura 7: Shiogama*. The final piece in Jamieson's seven-part *utamakura* series, *Shiogama* is a culmination of nearly five years of engagement with the poetics of nature through music, field recording, scent, video, and movement.

【作曲・映像】



ゼミソン・ダリルはカナダ出身の作曲家、工房・寂のアーティストック・ディレクター。ヨーク大学で博士号を取得後、文部科学省の奨学金を得て来日。東京芸術大学で近藤譲氏に作曲を学ぶ。現在、九州大学芸術工学部助教。日本の伝統芸術や哲学に対する強い関心に裏打ちされた「ヴァニタス・シリーズ三部作」(本作で第3回・柳菴コンテンポラリー賞受賞)など、音楽の可能性を探る挑戦を続けるかたわら、研究活動も進めている(「Spirit of Place: Zeami's *Tōru* and the Poetic Manifestation of *Mugen*」(2022)など)。「鹽竈」は、近年取り組んでいる「歌枕シリーズ」の第7作目。

【振付・出演】



©佐藤良祐

浅井信好は愛知県出身の振付家、ダンサー。2005年から2011年まで舞踏カンパニー《山海塾》に所属。2011年に文化庁新進芸術家研修制度で《バットシェバ舞踊団》に派遣される。2012年よりパリを拠点に《PIERRE MIROIR》を主宰。2016年に日本へ帰国後、《月灯りの移動劇場》を主宰するとともにコンテンポラリーダンスのプラットフォームである《ダンスハウス黄金4422》の代表を務める。名古屋芸術大学舞台芸術領域専任講師。2013年にARTE ART PRIZE LAGUNA 12.13 特別賞、翌年、愛知県芸術文化選奨新人賞、2017年にはグッドデザイン賞など受賞多数。

【出演】



竹本聖子は福岡県出身のチェリスト。東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。日本人作曲家の作品を発掘、演奏、録音する「オーケストラ・トリブティーク」、現代音楽に江戸文化を取り入れた表現に特色のある活動で知られる、ヴァイオリン・チェロ・三味線・作曲家によるアンサンブル「淡雪」のメンバー。ラジオ・ドラマや映画音楽、ミュージカル、ヘアショーやファッションショーでのライブ演奏、国内外の作曲家の作品の初演を数多く行うなど音楽作品との出会いを楽しみながら様々な演奏活動を行っている。工房・寂とは、現代音楽シリーズ「ヴァニタス」で過去2回共演。

【チケット購入方法・お知らせ】

- チケットは peatix でお求め頂けます。https://gardens3.peatix.com から、または右のQRコードを読み込んでご購入ください。peatixからのご購入の場合、1枚3700円(全席自由)、銀行振込でのご購入の場合、3500円です(振込手数料をご負担ください)。チケット他にかんするお問い合わせは工房・寂(atelier.jaku@gmail.com)までお願い致します。
- お帰りの際、本公演にちなんだお菓子のお土産をお渡しいたします。
- 当日の編成、出演者は予告なく変わることがあります。
- お越しの際はぜひ公共交通機関をご利用ください。最寄駅は桜台駅、徒歩1分です。
- 会場では常時マスクの着用をお願いいたします。
- 九州大学における公開リハーサルに参加ご希望の方は、工房・寂までメールでご予約ください(atelier.jaku@gmail.com)。
- 工房・寂のFacebook(www.facebook.com/atelierjaku)やinstagram(@atelierjaku)もぜひご覧ください。



【会場地図】

